

脳卒中の患者に対するリハビリテーションの流れ

経過	内科・脳外科的治療	リハビリテーションプログラム	主要目的
発症直後急性期発症後 24 時間以内	①バイタルサイン、神経所見、頭部CT、MRI、血液検査、心電図心臓超音波検査など ②血腫除去術（出血） ③脳浮腫予防・減圧 ④脳血流維持対策 ⑤再発・進行予防	①意識障害 2 桁以上 ②関節可動域訓練 ③体位変換 ④良肢位保持 ⑤意識障害 1 桁以内 ⑥上記に加え、3～5 分の座位、立位、歩行	①廃用症候群の予防 ②健側・体幹筋力の維持 ③立位感覚の維持 ④心理的安静
急性期 2～7 日	①脳浮腫予防・減圧 ②脳血流維持対策 ③再発・進行予防 ④栄養管理 ⑤リスク・全身管理	①上記と同様 ②進行しなければ徐々に機能を上げ実用歩行をめざす	①上記と同様 ②心理的アプローチ ③機能障害的アプローチ
回復前期 2～4 週	①再発・進行予防 ②栄養管理 ③リスク・全身管理 ④合併症予防	①機能回復訓練 ②日常生活訓練 ③高次脳機能障害訓練	①機能障害、能力障害、心理的アプローチ
回復後期 2～6 ヶ月	①痙性増強対策 ②疼痛対策（視床痛など）	①機能回復訓練 ②日常生活訓練 ③高次脳機能障害訓練 ④生活関連動作訓練 ⑤耐久力・体力訓練 ⑥前職業訓練 ⑦在宅環境調整	①機能障害、能力障害、アプローチ ②社会・家庭へのアプローチ ③障害受容・克服へのアプローチ
慢性期 7 ヶ月～1 年		①高次脳機能障害訓練 ②職業環境調整 ③機能維持	
超慢性期 1 年以上	①再発予防・健康維持増進 ②整形外科的再建術	①機能維持を行いながらの生活	①社会へのアプローチ